

令和4年度第4回 稲武地域まちづくり推進協議会 議事録

日 時	令和4年7月26日（火）午後7時00分～8時00分
会 場	稲武支所2階 団体会議室

1 あいさつ

○大内会長

7月2日(土曜)に、道の駅どんぐりの里いなぶがリニューアルオープンした。8月7日(日曜)までの土日にイベントが開催されるので、多くの利用者の来訪に期待したい。

また、コロナ感染者の増大が懸念される。いなぶ観光協会としては、稲武まじりの準備を進めているところではあるが、感染対策を実施してなんとか開催ができればと考えている。

2 協議事項

(1) 各団体からの現在の取組、課題などの発表について

①稲武商工会

山田副会長；

- ・商工会としては、商工業者の支援が大きな業務である。「いなぶのお買い物配達便」を実施しているが、これも個店の支援が目的の1つである。また、「歩かまい稲武」や「マイタウンおいでん」のイベントを事務局として実施している。ただし、自分達はイベント屋ではないことを申し上げておきたい。あくまで、「まちが賑わう」→「商店が賑わう」→「住む人が増える」→「まちが賑わう」・・・の循環を担っているのだと認識している。
- ・単にイベントを実施するだけではなく、どうしたら稲武に来た人がお金を落としてくれるか、もう1歩踏み込んで考えていかないといけないと思う。そのためにも、足助地区のように、各個店がもう少し儲ける姿勢があるとよいと思う。
- ・また、各個店においては、後継者がいないことが大きな課題となっている。10年後のまちなか商店街がどうなるのか心配である。事業承継に向けたM&Aの支援も検討したが、各個店は、店と住居が一体になっているところが大半であり、そこがネックになっていると感じている。

松井弘光委員；令和3年度であるが、廃業は5件、新入会員は10件であり、会員数は計165件である。そのうち、約100件が小売、飲食、サービス業である。また、最近の取組としては、青年部が中心に実施している「どこでもいなぶ」が、地区内の個店のPR等をしている。なお、地区外の人からは、特に

足助地区との対比としてよく言われるが、稲武の商店街を歩いていると、店の人が背中を向けて店の中に入っていってしまう印象があるようだ。

<質疑>

鈴木委員；商工会は会員の支援が大きな目的であるので、稲武地区内で新たに商売をやりたいと思っている人に、例えば、空き店舗を紹介することはできないものと考えていたが、実際はどうなのか？同業者の邪魔になることは、会員を支援することと反することになるので難しいと認識しておけばよいか？

→山田副会長；何か手を打たないといけないとは、個人的には考えている。

→大内会長；商売をする視点だけではなく、定住と関連する話であると思う。各個店は、実際には後継者がいないから廃業しているのが現実である。ただ、最近ではコロナ禍で、山間地で暮らして、山間地で商売をしたいニーズは増えているのではないか。

→鈴木委員；空き店舗の活用に向けた調整のために、商工会ができないのならば、新たな組織が必要なのではないか。商工会は会員の支援が目的だと思うので。

→山田副会長；会員の支援は確かに必要ではあるが、床屋にしろ薬局にしろ、店の競合は以前からあった話である。

→松井弘光委員；解決に向けた糸口としては、テナントミックスだと思う。必要な業種を逆指名的に地元から募集を呼び掛けることが必要なのではと思う。実際、国においても事業承継については、家族や従業員ではなく、M&Aが想定となっている。

→藤綱副会長；やはり共同店舗の実施が有力なのではないか。以前、道の駅近くに足助地区のパレットのようなものを作りたいという話があったが、当時は時期尚早として判断されたこともあった。

古橋真人委員；稲武地区で店を出す場合、ターゲットについては、稲武地区住民を対象にする場合と、稲武地区外の人を対象にする2種類があると思う。特に、稲武地区外の人をターゲットにした店は、性格としては、値段が割高で、雰囲気もオシャレで・・・というものであると思うので、そういったお店はもともと競合を意識していないと思われる。したがって、このような店舗としては、むしろある程度同じような雰囲気の店が増えた方が、PR効果があるのではないかと思う。

横田委員；足助地区では、市民生活の雰囲気が漂っているところに、観光客向けの店舗があった方がよいという話を聞いたことがある。稲武地区においても、空き店舗でどのような個店を入れた方がよいか議論をすればよいかと

思う。

今回は、NPO稲武まちづくり協議会、稲武地域会議、社会福祉協議会の3者が発表する。（その後、会長との協議により、今回はNPO稲武まちづくり協議会、社会福祉協議会の2者が発表することになった）

3 報告について

(1)「エンジョイドライビング in 豊田（稲武）オートテスト」の開催について
稲武支所加藤主査；

- ・交通安全の啓発、ラリーの機運醸成に向けて、オートテストを9月4日（日曜）に開催する。オートテストは、スピードではなく、運転の正確性を競うもので普通の乗用車で参加できる。
 - ・11月のWRCチケット販売の状況であるが、サービスパークになる豊田スタジアムについては、すでにチケット販売がされている（7,500円から）。また、黒田ダムの観戦エリアについては、7月28日（木曜）から販売開始予定となっている（13,000円から）。
- 杉山委員；オートテストの際には、デモランとしてWRCカーの走行を検討している。また、警察車両や消防団の積車の走行も予定している。

4 各種話題提供について

(1)ワーキング部会、各委員からの報告

大内副会長；稲武まつりは予定通り開催予定である。協賛についてもよろしくお願ひしたい。

佐藤委員；道の駅どんぐりの里いなぐは7月2日（土曜）に無事に営業を再開できた。一方、8月29日（月曜）から1月上旬にかけて、ボイラー等の工事を行うため、どんぐりの湯は休館するので、ご承知願ひたい。

→藤網副会長；どんぐり横丁については、12月以降は木曜日が休館になるか？

→佐藤委員；その通りです。

→大島委員；新横丁内を見ると、レジ待ちの客が多くなっているため、レジを1台増やした方がよいと思うがどうか？

→佐藤委員；営業を再開してみて、色々課題が見つまっている。検討したい。

古橋真人委員；令和3年度から「稲武KAIKO学」を行っているが、8月27日（土曜）に「シルクフード」をテーマに開催する。シルクは高たんぱくで栄養価が高く、食としてのカイコの可能性を考えていきたい。

横田委員；①オープンイナブについて、人材開発・研修を事業内容とする「ファーストキャリア」さんから申し入れがあり、地域振興を題材として人材育成を進めるプログラムに協力することになった。

②マウンテンバイクについては、コロナの拡大もあり、現状としては集客に苦勞しているところである。なお、8月14日（日曜）に地元向けにトレイルの開放を予定している。

5 次回開催日

令和4年8月30日（火曜）午後7時～ at 稲武支所団体会議室

<以 上>